



紀宝町

議会だより

平成24年12月1日発行
(第24号)



議 会 日 誌

平成24年7月～9月

- | | |
|--|---|
| <p>7月 2日 熊野川河口に橋を架ける会要望・提言活動 (紀勢国道事務所、中部地方整備局、三重県庁) 熊野川流域ダム湖下流団体協議会提言活動(三重県庁)</p> <p>6日 熊野川流域ダム湖下流団体協議会臨時総会(新宮市)</p> <p>9日 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動 (国土交通省)〔10日まで〕</p> <p>16日 熊野川河口に橋を架ける会要望・提言活動 (国土交通省)〔17日まで〕</p> <p>18日 近畿自動車道紀勢線〔熊野市～新宮市間〕 建設促進期成同盟会総会(紀宝町)</p> <p>19日 石川県中能登町・紀宝町議会運営委員会 意見交換会(紀宝町)</p> <p>23日 三重県町村議会議長会理事会(多気町)</p> <p>24日 熊野川改修促進期成同盟会理事会・総会(新宮市)</p> <p>30日 熊野川河口に橋を架ける会要望・提言活動 (近畿地方整備局、和歌山県庁) 三重県町村議会議長会定期総会(津市)</p> | <p>8月 4日 石川県中能登町訪問〔5日まで〕</p> <p>8日 議会運営委員会</p> <p>20日 三重郡議会議長会正副議長研修(紀宝町内)</p> <p>22日 紀宝バイパス対策特別委員会</p> <p>24日 熊野川改修促進期成同盟会提言活動(近畿地方整備局)</p> <p>27日 紀南環境衛生施設事務組合議会(新宮市)</p> <p>9月 3日 教育民生常任委員会、紀南介護保健広域連合議会(熊野市)</p> <p>4日 全員協議会</p> <p>6日 熊野川流域対策特別委員会現地視察</p> <p>11日 議会運営委員会</p> <p>18日 第3回定例会・第1日目、議会運営委員会</p> <p>19日 第3回定例会・第2日目</p> <p>20日 第3回定例会・第3日目</p> <p>21日 第3回定例会・第4日目</p> <p>26日 三重県町村議会議長会理事会(津市)</p> <p>28日 紀南病院組合議会(御浜町) 紀南社会福祉施設組合他一部事務組合議会(御浜町)</p> |
|--|---|

9月定例会 一般質問

(要約)



原 章三議員
子どもに対するいじめ問題
について

・農業関係について
・深田グラウンド土砂仮
置き場撤去計画について

他

子どもに対する いじめ問題

議員

文科省の2011年度「いじめ」に関する調査では、学校側が把握した件数は7万件あります。前年より7400件減少しているものの、インターネットや携帯電話を使用した「いじめ」もあり、実態は減ったかどうか分かりません。また同年自死された小中高校生は前年比44人増の200人にのぼり、過去25年間で最高だったことが分かりました。町内においても、このような事故が過去において発生

平成24年第3回紀宝町議会定例会は9月18日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。第2日目の19日から、一般質問が行われ、第3日目の20日にわたり7人の議員が、諸課題について当局の考え方を質しました。その後、議案審議に入り、条例の一部改正、工事請負契約の変更、平成24度一般会計補正予算、診療所事業・井内地域開発事業・水道事業特別会計補正予算案件など7議案を可決しました。第4日目の21日には、平成23年度一般会計決算並びに6つの特別会計の決算を認定した後、4件の請願を採択し、この請願に基づく意見書4件を可決し、閉会しました。

していたかお伺いします。

教育長

平成18年文科省の通知により、町内でもいじめの早期発見、早期対応により、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいます。また生徒指導については、月ごとに報告してもらい、把握してまいりました。小中学校においていじめによる大きな生徒指導上の問題はありません。

議員

今日、学校をめぐる状況は、過度の競争、管理主義的教育のあり方、学校の評価、教職員の評価、特に教職員の多忙化で子どもたちと向き合う時間が十分保障されており

ません。過労死、うつ病、自死が多発しているのが教育現場の実態であります。これらについてどうお考えかお伺いします。

教育長

学校の先生が子どもを良くし、学力を向上させるために忙しいのは当然の職務だと思いますが、いろんな他所への多忙感を少なくしていくべきだと思います。

議員

国連の子ども権利条約では「児童に及ぶすべての事項について自由に自己の意見を表明することができ」となっています。「いじめ」問題にしても子どもたちが自由に意見を

農業関係

議員

提供することができて、問題は子どもたちで解決し、大人はそれを補助する。このような場を提供することが大事だと考えますがいかがですか。

教育長

議員のおっしゃる通りでございます。自死に至るような問題を起ささないためには、根本的である大人社会のいじめをなくさなければならぬと考えます。大人のストレスが子どもにもつながっていると考えられます。

産業建設課長

農業委員の方に作付の意思と被害調査をしてもらい、概ね把握しております。

議員

法人化に向けた単年度事業については期限が短く、3月末以

降農機具の購入、修理については保障が出ない等、問題が多い制度であります。今後改善していくべきだと思いますが、考えをお伺いします。

産業建設課長

これはあくまで県単事業での緊急支援策でありまして、使い勝手が悪いと考えています。今後、県に対して希望の持てる事業をお願いしていきます。

議員

国の推奨している農業政策は大規模化、売れる商品などで、私たちの町には実態として合いません。今、水田を守っていくためには若い人や定年退職された人が、気楽に農業をやってみたい、また農機具がなくても農業ができるように、J Aと町が提携し、気軽に農業への参加できるものをつくる必要があるのではないかと。

特別参与

山田を守り、耕作放棄地をなくすことを推進していくユニークな考えだと思しますので、そういうことも検討していく必要があると考えます。

深田グラウンド 土砂置き場 撤去計画

議員

深田グラウンドの工期についてどうなっていますか。また実際に使用できる時期とグラウンドの状態をどのようにするのか、お伺いします。

産業建設課長

堆積土砂は8千立方メートルで9月12日に入札を行い、12月21日で完了予定となっています。

教育課長

水捌けや周辺の環境整備に配慮し、次年度に整備できないかと考えています。今後、地元スポーツ関係団体等への説明も行いながら進めてまいります。

獣 額 対 策

議員

サル、イノシシ、シカ等の獣害被害が昨年より増えているため、電柵対策が大きな課題となっています。町の補助対策がどのように行われているのか、お伺いします。

産業建設課長

獣害防止資材購入制度の見直しや平成23年度に引き続き、電気柵を阪松原、平尾井、井田地区に配置していく予定です。県の補助事業である電

柵設置については事業の拡大、狩猟免許の取りやすい環境整備等の要望を県に行っております。

議員

ワナ猟具で箱ワナについては、1基10数万円と聞いていますが、町内では5万円程で作成されている方もおります。そういった人たちに依頼してもらえば予算的にも潤うのではないかと。

県内の各市町では獣害対策について、地域の人たちも含めて講習会や説明会が行われております。当町においても講習会の開催を行う必要があるのではないかと。

町長

猟友会の会員減、高齢化に伴い、対策がやりにくくなっているのが現状であります。そういった意味では地域の私たちと一体となった取り組みが重要だと考えています。

災害ごみの受け入れ

議員

三重県下で震災ごみ受け入れについて、いくつかの市町で地元説明会を行ってきた

が、反対の意見が強いと報道されています。町内でも説明がありました。その後どうなっているのかお伺いします。

環境衛生課長

三重県下では伊賀南部環境衛生組合、多気町、熊野市、尾鷲市が検討中であります。始めは、宮城県からのごみ処理と聞いていましたが、その後岩手県久慈市からのごみ処理の打診を受けています。しかし御浜町を含め、南牟婁郡のごみ処理方法がRDFになっておりますので、処理方法の問題が解決されない限り、難しい問題であると思います。



西村 喜久男 議員

・河川の氾濫防止対策について

・紀伊半島大水害の教訓に
防災、減災の取り組み
について

他

河川の氾濫防止対策

議員

以前から堆積土砂や雑木など川の容積も少なくなり、増水で氾濫し、家屋や田畑への浸水被害が心配されます。昨年の台風12号の災害復旧事業において相野谷川の堆積土砂撤去についてどのようになっておりますか。

産業建設課長

河川激甚災害対策特別緊急事業におきまして、熊野川の河道掘削が進められております。相野谷川の堆積土砂撤去を含めた掘削につきましては、具体的には伺っておりません。

議員

国、県の地区説明会の中で、相野谷川の堆積土砂を含めた、河道掘削もやりますと言われておりましたがどのようになっておりますか。

産業建設課長

災害復旧事業として熊野川との関連もございます。国の直轄事業の部分での相野谷川の災害復旧事業は、あり方検討会の中で検討していただ

ると思っております。

議員

災害復旧復興プロジェクトにおいて、強く要望していた中で取り組みはいかがでしょうか。

特別参与

今、熊野川の河道掘削について関係機関との調整をしております。要望についてはこれからしていきますのでよろしくお願いたします。

議員

相野川も堆積土砂、雑木、雑草が増え、川の容積が減少しており、増水時に氾濫する恐れがあります。早急な対策が必要と考えますがどのようにお考えですか。

産業建設課長

三重県管理の河川につきましては、至るところで浚渫が必要な箇所が有り、優先順位を付けながら、やっているところと相野川につきまちは以前から地元住民の方から土砂撤去、除草の要望があり、三重県に対し浚渫の要望を継続して行ったところであります。昨年度に大里から平尾井間、約2kmについては、河床掘削を順次進める計画をいただいております。

町長

ご指摘のように河床は確かに上昇していることから、土砂掘削について取り組みを進めていただくように国・県などにお願してまいりたいと思っております。早くしなければならぬという議員の気持ちも十分わかりますが、しかし今、災害復旧の工事の中で、なかなか手が回らないのが現状です。今後とも議員の皆さま方と一緒に、早急な対応について要望してまいります。

防災、減災の取り組み

議員

ライフラインの電気、水道や通信機能などに対して、地震、津波災害と合わせ考え、新たに取り組む必要があると思いますが、どのようにお考えですか。

防災担当理事

本年4月に西日本電信電話株式会社様、関西電力(株)様と災害時、迅速かつ的確な復旧対応を講じる目的とした、災害復旧用オープンスペースに関する協定書を締結さ

せていただいております。水道の確保につきましては、担当課において給水車を購入していただくことになっております。また今後の地震、津波対策のことを考え、耐震性の貯水槽の設置を町内に整備していく必要があるのではないかと考えております。

議員

現在の避難場所では、また浸水するのではないかと不安を感じている方が多いと思います。より安全な避難場所への取り組みはどのようになっておりますか。

防災担当理事

紀伊半島大水害の水位を参考に避難所の検討をさせていただきますましたが、各地区とも適当な公共施設がなく、地区の方、自主防の方とも相談させていただき、一時避難について基本的には、浸水した箇所になるところもございすが、現在指定させていただいております地区集会所等になると思っております。その後の状況に応じて、二次避難、三次避難の必要が生じる場合には、紀伊半島大水害の時の避難していただいたルートになると思

議員

一次避難所で安心して居られるのが理想だと思います。予算等いろいろあり、すぐにはできないとは思いますが、地区の要望があれば、より安全な場所の検討をよろしくお願いたします。

議員

いじめが生じた時に個人情報取り扱いに留意して、正確な情報提供を行うことで、保護者や地域住民の信頼を得る必要があると思います。事実を隠べいするような対応は許されなと思います。正確な情報提供ができる体制づくりはできておりますか。

教育長

今は、いろんな問題がある中で、学校だけで解決できない要素があります。地域といろんな関係機関との連携が大変必要になっております。子どもに対する生活アンケートや、保護者に対する学校の指導方法などに対してのアンケートを採り、把握しております。学校公開、あるいは公開授業をして保護者の方、地域

ネットワーキング

セキュリティの取り組み

議員

ウイルスやハッカーに対して、町のネットワークセキュリティ環境はどのようになっておりますか。

企画調整課長

ウイルス対策ソフトによる各パソコン端末のチェック、メール送受信時のデータのチェックなどにより、監視を行っております。インターネットからのアクセスに対してファイアウォールによるアクセスの制限をしているほか、機器ごとに庁内ネットワークへの接続制限を行うなど、外部からのアクセスを遮断しております。職員の教育体制につきましては紀宝町情報セキュリティポリシーを作成し、基

本方針、対策基準、実施手順、報告等の様式を細かく決めております。



塩野 真 議員

- ・道路整備に伴う変化について
- ・鉄道のあり方について

道路整備に伴う変化

議員

道路の整備に伴い、当町にどのような変化を期待しておりますか。防災、商工業、医療、教育、地域間交流、それぞれについてお伺いします。

1 防災

防災担当理事

人、物の移動がスムーズになると思います。今後、発生が危惧されており、東海・東南海・南海地震が発生した場合、津波に対する一時避難場所として非常に有意義に活用できると思います。

2 商工業

企画調整課長

町内業者は新たな商機を生み出すチャンスであると考えております。逆に町外業者も当町を商圏とし、業者間での競い合いによるサービス向上や活性化が期待できるものと考えております。

町長

道路の開通は、当地域にとって大きなチャンスであり、活かしていかなければならない思いは同じでございます。

議員

道路整備により、多くの人が他県へ流出していくことが予想されます。あえてこの地域に、誰が聞いても知っていないようなチェーン店をつくることよって、名古屋、大阪に行っていた人が行かなくなると、いかに人を外へ出さないかという発想で考えて

いくことも大事であります。企業誘致が無理でも、小さな店舗をいくつか誘致するのは可能ではないか。

3 医療

健康づくり推進課長

入院、通院などにかかる時間が短縮され、患者、付添者の負担軽減になると考えております。時間的制約の中で専門的な医療などを検討していた方が通院できる選択肢が広がり、安心安全な医療が受けられるものと考えております。

議員

第三次救急医療施設に60分以内に到着できない地域が広く分布しており、大きな課題となっております。和歌山県の長期総合計画にドクターカーの活用を積極的に推進するとしています。ドクターヘリが、天候が悪くて飛ぶことができなくて、救急患者を搬送する有効な手段になってくるのではないかと。

4 教育

議員

毎年一定数の子どもが他の進学校へ行き、スポーツ等でさらに上を目指しています。道路整備に伴い、ますます加速するかもしれませんが、多

く子どもたちは地元の高校へ就学したいと考えています。当地域の2校の高校も、いつになるかは分かりませんが1校になる予想もされています。昔に比べて進学の選択肢が少なくなっており、非常にかわいそうだと思います。今後、高校へ入学する保護者や子どもたちを巻き込んだ将来の議論があってもいいのではないかと。

教育長

議論は多いにすべきであると思います。大きな目で、この地域の発展を十分に考えていかなければなりません。教育だけの問題ではなく、いろんな分野で、そういうことが必要であると私は思っています。

5 地域間交流

議員

道路整備に伴い移動時間が短縮されることにより、人の移動は今までより当然活発になると思います。人口の交流も飛躍的に増加すると思います。他の市や町から、より多くの人に来てもらい、この地域の良さを知ってもらいたいと思います。そして繰り返し、この地域へ来てもらう仕組みづくりや魅力

鉄道のあり方

議員

づくりを考えていかなければならないと思います。また地域交流に関してだけでなく、いろんな分野で考えてみても、どこかでつながっているといます。道路状況の変化によって町をどうしていかなければならないのか、商工業だけ、教育だけを何とかしようという視点ではなく、総合的に考えていくべきではないかと思えます。我々にはまだ準備の時間が残されています。是非、力を合わせて盛り上げていきたい。

町づくりに鉄道が果たす役割として、その一つに町の賑わいや中心街、市街地を活性化するという役割があります。駅前にあえて、集合場所を設けて、会議、催し物、サロンをやつて人の集まりを作る。駅前が寂れると町が寂れると言われます。岐阜の萩原町では商工会が無人駅を運営しています。また鉄道は一度に多くの人、物を郵送できる。東日本大震災時にも燃料を大量に運んだという事例がありました。もしもの時の安全安心

な輸送手段として残すべきだろうと思います。今は元気な方でも、自動車の運転が困難になってくる時期が必ずきます。そのような時に住民の足として鉄道が果たす役割は大きいと思います。しかし道路整備に伴い都市圏へ高速バスが走るようになってくる場合、果たして特急列車を利用するだろうか、ほとんど利用しないと思います。利便性の良い他の公共交通機関ができ、普通列車も乗らなくなれば廃止になる可能性もあります。もし鉄道が廃止になった時、子どもたちの通学や高齢者の生活の足を、どう確保するのか、また鉄道が存続していくためには何をしなければならぬのか、というこの両方を並行して考えていかなければならないと思います。JRが運営を続けるのか、どこかで第三セクター方式になるのか分かりませんが、現段階で増発等の運行の変更は難しいと思います。私の勝手な意見ですが、早い段階で第三セクター方式にして地域にあった鉄道づくりはできないだろうか。例えば津波にも大丈夫な高台に新しく学校や小さな店、駅ができること

によって、学生や買い物客が集まり、コンパクトシティがで

きるといった発想で、駅ありきではなく必要なおとりに駅をつくるという考えはどうだろうか。いずれにしても鉄道だけ、商工業だけ、道路だけを切り離して考えても駄目であると思います。総合的に町のことを考えてくれる人が多くなれば、いろいろと良い意見が出てくるのではないかと思います。是非その部分を期待したいと思います。



高垣 操男 議員

・これからの町の防災対策について ・いじめ問題について

議員
大水害から1年が過ぎましたが、本当の復興は今からだと思います。まだまだ住むところの決まっていない人が何人かおられます。また道路、河川の復旧も今、ようやくスタートしたという感があり、一日でも早く復旧と思う毎日であります。もし今回以上の災害が起きれば、道が通れなくなり、鮎田や高岡、大里にしても、本当に孤立するのではないか。その点に対して、町長の思いをお伺いします。

町長

これからの安全、安心の町づくりに向けて、いろんな課題がたくさん分かってきたわけでございます。一生懸命取り組んでまいりましたけれども、なかなか町民皆さま方の思いに込えられていないという部分もあるかと思っております。また、それぞれのルールの中で非常に皆さま方に苦しい思いをさしているという部分も現実的にあるわけでございますが、基本的な災害に対する思いとしては、自助・共助・公助というのがあるわけですから、この基本をし

の立場で身につけて、それぞれの責務を果たしていけるか、大きな減災につながる、あるいはつながらないか、出てくるのではないかなと思っております。特に災害発生時には、自助と共助が非常に大切でございます。自分の命は自分で守るんだと。また自分たちの地域は自分たちで守っていくという体制をより一層強固な体制にしていく必要があるのではないかなと強く思っております。そのため

にも、自助の部分としましては、住宅の耐震化や高齢者世帯の家具の固定事業の推進を図りますとともに、共助の部分では、各地区において地区自主防災会の役割が非常に重要でありますので、今後とも育成強化に努めてまいります。公助といたしましては、減災対策として、避難路の整備、また一時避難場所の確保、避難所の整備など、逃げることを基本にした避難体制づくりを計画的に地域の皆さんと一緒に進めていきたいと思っております。今後とも、人的被害を限りなくゼロに近づけることを目標に、自助・共助・公助を基本にした防

いじめ問題

議員

連日マスコミやテレビ等で子どもの自殺とか本当に悲惨なニュースばかりであります。いじめにしても現実的にそれが起こっているわけでございます。先ほど、教育長の答弁のなかで、紀宝町では起きていないという話を聞いて安心したわけですが、いじめのうち最も典型的な仲間はずれ、無視、陰口を小学4年生から中学3年生までの6年間のうちで、いずれかの時期に1回以上受けたことがある、あるいはしたことがある、と答えました子どもたちが約9割とのことですので、いじめは誰にでも起こります。いじめは誰にでも起こります。対策としては、子ども全員を対象にした未然防止がメインになると思います。そしてその中で、いじめはいじめの側が100%悪いということ子どもに訴えていくことによ

これからの町の防災対策

て、子どもたちの意識を変えていく必要があります。地域、家庭の教育力が低下するなかで、子どもたちは人から頼られたり、必要とされた経験が少なくなってきたいます。そこで、下級生への世話を通じて自分が役立ったという感覚を育てることも有効であります。そういった地道な取り組みを丁寧に行うことで、子どもの社会性が養われ、いじめ防止につながると書かれています。このことに対してお伺いします。

教育長

いじめにつきましては、やはり未然に防止するということでありまして、ちょっと仲間はずれにされたとか、あるいは足をちよつと蹴られたとか、あるいはちよつとつかれたとか、あるいは無視されたとかですね、そういう現象はやはり子どもの世界には現にあります。だからそういう点をですね、学校や先生がいち早く見つけて、それに対応していかなければならないと思います。それはやはり早期発見であり、早期対応であると思っています。だからそれをどう見つけるかということですが、学校的生活アンケートや子どもからの通報、担

任の先生と子どもとの関係からや保護者からも、もしかするとあるかも分かりません。だから学校としましても、これは教育委員会も一緒ですけれども、やはりそういう情報がいち早く入るような、体制を取らなければならぬと思っています。分かれば早く、早期に対応する、そういうことが一番必要ではないかと思っております。

※この他に、学校の非構造部材の耐震化が必要ではないか、AEDの設置について質問がありました。

公債発行特例法案

議員

政府は本年度予算約90兆円を計上し、内財源がない38兆円を赤字国債で賄う予算を計上し成立しましたが、国政の不安定により本国会での公債発行特例法案成立が難しい状況であります。政府は予算執行抑制案を決定し、地方交付税を先送りすると報道されておりますが、本町予算も歳入で地方交付税23億と大きく交付税に頼った予算であり、この状態が長引けば町民生活にも影響がでると危惧します。地方交付税の支払い状況と町民生活への影響についての2点をお伺いします。

総務担当理事

政府の予算執行方針で地方交付税の執行抑制策が閣議決定し、抑制策のうち地方交付税の9月分は交付されない前例のない事態となりました。その後市町村には9月分の全額を交付し、都道府県分は月割りの交付が決定され、町は10日に約6億5千万円の交付を受けたが11月分の用途は立っておらず、大変難しい財政

運営が予想されます。このままでは町民の生活にも大きな影響がでるものと考えております。

議員

このような事態について、町長は現在の国政をどのようにお考えかをお伺いいたします。

町長

財源の確保が基本であると思えます。国政の中では三党合意で社会保障と税の一体改革はある程度の進みがありました。公債特例法案については未決定であり、三党合意を踏まえ、互いの党が約束を履行していただいて、国民生活に影響がでないよう最善策を考えるのが当然であると思えます。

議員

今後も国政を十分注視いたさきたいと思います。

高岡地区の孤立化対策

議員

地方紙において高岡輪中堤内住民の反発で復旧復興が先送り報道されていますが、事実関係について、お伺い

たします。

特別参与

新聞報道は第4回熊野川の堤防調査委員会後の記者会見のときだと思えますが、進められるところから調整しながら進めていこうということとして、先送りということなどは一つも言っておりません。後日、また国交省からホームページで詳しく調査委員会の報告書と被災の概要が発表されますので確認し、報告させていただきます。また国交省も記事に対し、申し入れをするとの報告がありました。

議員

次に高岡地区の長年懸案となつています県道紀宝川瀬線の冠水対策状況をお伺いします。

産業建設課長

県道の和田地の冠水箇所は現在道路改良高を検討中であり、改良に伴う用地確保も含めて検討中でございます。

議員

高岡地区の集落をつなぐ唯一の道路が県道であります。増水時には県道が冠水し、集落が孤立します。住民は不安を感じながらの生活を

余儀なくされているのが現状であり、住民からの孤立解消に向け、集落を結ぶ道路建設の要望を受けておりますので、現事業の状況について質問します。事業中である県営中山間事業集落道整備一号高岡の進捗状況をお伺いします。

産業建設課長

測量設計・橋梁設計は完了しております。今年度は11月から法面工の詳細設計と用地測量の実施25年度で用地買収を行い、工事着手予定と伺っています。

議員

高岡神社から新たに和田地地区までつなげれば孤立が解消できます。事業については中山間事業の継続が有利であると思いますので、本事業継続の採択を受け早期に孤立解消に取り組んでいただきたいと考えますが町の考えをお伺いします。

産業建設課長

本区間も要望を受けており、中山間事業で検討していきたいと思えます。

防災対策

議員

津波が本庁舎の2階部分まで達するとの想定であります。が、公用車の流出対策はどのようなにお考えかお伺いします。

防災担当理事

津波対策として防災拠点施設の計画時に公用車の階上駐車スペースを検討しましたが、建築の制約により確保に至りませんでした。今後は使用頻度を視野に保管方法を検討したいと思えます。

議員

公用車は町民の財産でありますので対策をお願いいたします。

復旧・復興

議員

復旧・復興計画の作業内容についてお伺いします。

特別参与

災害復興プロジェクトチームを設置し、作業を鋭意進めております。10月には復興の骨子案を示し、年内策定を目的に進めたいと考えています。

買い物困難地域の解消

議員

前回の諸報告で福祉の店アプローチの業務で宅配サービスの実施も検討との報告がありました。が、状況をお伺いいたします。

福祉課長

桐原地区をモデル地区で進められており、7月には概要説明があつたと伺っています。概要としては、宅配と同時に安否確認を併せて、地元野菜等もアプローチで販売を行う双方向性の宅配制度で進められています。実施時期は未定であります。が、体制等が整えた後開始し、町内各地で展開したいと聞いております。本町でも支え合いの体制構築支援にも取り組みたいと考えています。

議員

早期に進めるようお願いいたします。

二次災害の恐れのある場所

議員

二次災害の恐れのある場所を教えてくださいませんか。

産業建設課長

神内の里地谷、ジャンク谷、大和田川ではないかと思っております。

議員

人命に危険の及ぶところであれば町独自で検討して、アパートや仮設住宅等の提供は考えられませんか。

産業建設課長

一次的な避難場所としての



平野 美津子 議員

・二次災害の恐れのある場所はすぐに復旧工事や防災拠点施設建設計画について

他

仮設住宅を建設する考えは持っておりません。安全・安心な生活を送るためには全ての工事の完成が必要であり、三重県に対して早急な工事を要求してまいります。

議員

次に先日の大雨警報のときの避難勧告等の対応についてお伺いします。

防災担当理事

避難勧告等を発令する判断基準に達していませんでしたので、注意喚起に留めさせていたでいております。しかし、河川の水位の状況によっては浸水ということも考慮をいたしまして、避難所開設等の事前準備をしておりましたが、基準に達しませんでしたので、避難所の開設は行っておりません。

議員

浅里には水位計が設置されていないということですが、どこで設置していただけるのか、お伺いします。

防災担当理事

三重県で水位計を設置していただけるとお伺いしてまいります。

議員

危険と考えられる地域の対

策として、雨の場合は前もって、避難することができませんが、地震の場合の対策はどのように考えていますか。また堤防が完成するまで町長裁量で生活する場所を提供する考えはありますか。

防災担当理事

地震が起これば、地域、地形的な危険も当然あるかと思えます。地震に対しては自分の命を守るといふことの周知として、例えば、学校で防災訓練等、いろんな対策をしておりますが、地震のためだけでなく、災害に強い地域づくりを関係部署において取り組んでいただいております。仮設住宅の件については答弁を差し控えさせていただきます。

防災拠点施設 建設計画

議員

夜間に地震が起こった場合、駆けつける職員も住んでいる地域によって影響があると思います。そこで役場から海側と山側に住んでいる職員数ほどのようになっていますか。

総務担当理事

本庁舎に勤務する職員は、

鶴殿地区24名、井田22、神内10、成川6、鮎田2、高岡1、大里1、井内2、平尾井3、阪松原2、桐原地区1名、町外6名の合計80名です。

議員

勤務時間外の時に、職員がどれだけ役場に集まれるかが問題であります。また3階以上に津波が来た場合、機器が使えなくなるため、サテライトで防災機器を設置し、避難指示ができる場所が必要だと思います。また防災拠点施設は紀宝町全体で有効に活用されるものだと思います。アスカ設計が選考され、その選考委員の中に鶴殿区長や自主防災の代表の方がおられるということですが、2億5千万の大金を使うのですから、住民合意が必要だと思います。何名でこの拠点施設を建設するのを協議されたのですか。

町長

町民の生命財産を守る、安全第一を確保することが大事であります。防災拠点施設を造ろうと決断したのは私です。責任を取って全部進めていきますし、議員の皆さま方にもご理解をいただいて進めていきたいと思います。

議員

12号台風でも、地域の皆さんの今までの経験が人命救助にすごく生きていたと認識しています。災害はいつ起こるか分かりません。勤務時間内の話はありませんが、私が一番心配していますのは時間外に起きた場合です。時間外に起きた場合について伺います。

町長

時間外という話であります。時間外ですので職員の拘束は外れていますが、震度5以上あれば、当然職員がここに参集します。しかし、そのときにどこの地域から来るにしても、いろんな状況があると思います。昼間と夜間では来るのが早い、遅いという議論ではなしに、しっかりと対応していく必要があると思います。

男女共同 参画プラン

議員

防災計画や復興計画に男女共同参画プランがどのように活かされていますか。

企画調整課長

男性・女性という観点ではなく、より広い紀宝町民全体の皆さまと一緒に取り組みを進めていきたいと思っております。

イベント

議員

良いアイデアを持っている町民の方がたくさんおります。今後の取り組みについて、公募を検討してください。

企画調整課長

今後、提案いただいたことも検討していきたいと思えます。

ファミリーサポート センター

議員

ファミリーサポートセンターがいよいよ発足しました。いつも0歳児保育との関連で議論させていただいておりますが、ファミリーサポートセンターと保育所の支援の違いについて、教えてください。

福祉課長

保育所は保護者が働いて

るなどの理由で、保育に欠ける子どもを一日預かり、保育することを目的にしています。ファミリーサポートセンターは保育所などで対応できないニーズに答え、気軽に預けられる支援を行うものとなっています。

議員

ファミリーサポートセンターは、1時間預かってもらうと700円かかります。例えばアルバイトやパートで働いても、お金がなくなります。今後、早い時期に0歳児保育の実施を町政に要望します。

学校防災

議員

学校防災についてお伺いします。

教育課長

児童生徒を災害から守るために、ハード面として成川小については建築中ですが、町内の小中学校を耐震化しております。ソフト面では児童生徒の防災対応能力の育成を目的に、学校の状況に応じて避難訓練を実施しています。

教育長

学校の職員が共通理解を持

って、子どもたちに「自分の命は自分で守る」等の防災教育にあたらないといけないと思っております。防災について各学校で状況を分析し、検討してもらっています。

※この他に災害こみの受け入れについて質問がありました。



榎本 健治 議員

- ・防災対策について
- ・いじめ問題について
- ・給食費の未納について

防 災 対 策

議員

南海トラフ巨大地震での被害推計では、最大津波高11mと予想される中で、鶴殿地区駅裏の中曽川は海拔0mの位置にあ

る。ボックスカルバート部への津波自動遮断弁の設置について、進捗状況をお伺いします。

産業建設課長

津波対策として自動遮断弁設置については、予算的・技術面など十分に検討していく必要があります。港湾管理者である県には、マイターゲートの適切な維持管理に努めていただき、引き続き要望してまいります。

い じ め 問 題

議員

子どもや保護者の立場に立つて、未然に自殺を防ぐ、いじめを防ぐという観点からも、人命は本当に何ものにも代えることができない尊いものであります。母親がお腹を痛めて産み、そして愛情を育み一生懸命育てた我が子が自殺に追い込まれることは想像を絶するものがあります。現在、紀宝町の公立学校でいじめはありますか。

教育長

大きないじめの報告はありませんけれども、放っておいたらいじめに至る、つながっていくような子どもの中での小さなトラブルはあります。

教育委員会もそうですが、どの学校においても、どの子どもにも、いじめは起こりえる」と認識しています。

議員

現在、いじめはないということですね。

教育長

大きないじめの報告は受けていません。小さなことまで言えば、いじめはないと言えませんので、必ずしも、いじめは絶対ではありませんということ、この段階では言えません。

議員

いじめ調査の生活アンケートで各学校別でどれくらいその小さないじめがあったのか。また、その事例の各学校別の解決率はどうなのかをお伺いします。

教育長

学校別での質問に対しては、お答えを遠慮させていただきますかと思っております。9月に文科省から、生活アンケートも含めて、いじめ調査の依頼がありまして、その中で、大きないじめはなく、小さないじめは8件あり、その8件ともほとんど解決しています。

議員

8件の事例があつて、何件解決しているのか、お伺いします。

教育長

もしかするといじめに至るかもわからないのが8件あり、そのうち半分の4件は解決されておりまして。

議員

大津市や全国で発生している自殺問題について、紀宝町の教育委員会はどのように考えているのか。またあつてはならないが、同様の事件が紀宝町で起きた場合に、教育委員会はどのように再発を防いでいくのか、お伺いします。

教育長

本当に痛ましいことであつて、あつてはならないことであり、どうして自殺までに至る前に、何とかできなかったものかと悔しい思いが込み上げてきます。もし、このようなことが紀宝町内で起こったらということではありますが、大事件につきまして、仮定での答弁は差し控えさせていただきますかと思ひます。

議員

今、仮定での話しはできないと答弁されてしまいましたけれ

ども、私は想定として質問をしています。答弁できないということであれば、教育長は例えば防災対策や地震対策等も否定することになります。

津波で堤防を越えるかもしれないから堤防を高くしたり、学校が停電するかもしれないから発電機を設置したり、あらゆることを想定して物事を考えます。いじめに対して想定し、再発を防いでいくことはいけないのでしょうか。

教育長

いわゆるいじめが自殺にまで至ることは絶対にあつてはならないことでもありますから、未然に防止すべきである」と私は強く思っています。

議員

転ばぬ先の杖という、ことわざがありますが、いじめは起こらないと断言できるのですね。全国的に見ましても教育委員会が後手後手にまわっています。起こる前に予防線を張ることが大切だと思ひますが、いかがでしょうか。

教育長

予防線を張るとかではなくて、やはりいじめはあつてはならないことでもあります。絶対これ防止していかなく

ればならないと私は強くそのことを思っております。

議員

明日は我が身として考え、取り組んでいくのか、また仮定の話ではなく、想定をしておいたほうがいいのではなにか。

教育長

いじめは絶対にあつてはならない。隠べいのようなことも絶対にあつてはならないと思います。

議員

いじめ問題は日本全国で起こっている社会問題といわれております。紀宝町で発生した場合、速やかに県教委に報告し、他の市町の教育委員会との連携や、場合によっては文科省とも連携して解決策を見出していきたいと思えます。

教育長

教育委員会と町内の学校の連携は必要だと思えますが、他の市町との連携は別になると思えます。また隠べいについてはあつてはならないと強い認識を持っておりまして、やはり報告すべきところは報告しなければならないと思っております。

給食費の未納

議員

現在、紀宝町では管理栄養士指導の下、地元の食材を利用した安全で栄養のバランスのとれた美味しい給食を提供していただいております。関係者の方々には本当に敬意を表します。給食費の未納者が多いと伺いますが、現在の紀宝町の未納状況は。給食費は1食あたり小学生で2000円、中学生で2200円となっております。人件費や光熱水費を含めた1食あたりの単価はいくらになるのか。

教育課長

本町におきましても未納の状況は深刻な事態と受け止めております。滞納額の合計が総額で128万5740円となっております。1食あたりの給食単価は528円になります。

議員

徴収は給食センターと学校、どちらが主導して徴収にあたっていますか。近隣の熊野市と御浜町の未納状況はいかがでしょうか。

教育課長

給食費の徴収は各学校長の

管理下で行われています。近隣の御浜等々にも確認するなかでは、未納はないというようなことを聞いています。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)

今月の表紙



11月9日(金)
石川県中能登町との調印式
(会場：中能登町社会福祉センター)



調印後の様子
左から矢熊紀宝町議会議長、西田紀宝町長、
杉本中能登町長、岩井中能登町議会議長

次回定例会の予定

12月18日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5カ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
- ② 生涯学習センターまなびの郷
- ③ 福祉センター（鶴殿）
- ④ 保健センター（神内）
- ⑤ 相野谷診療所

※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧いただくには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（9月）

- 紀宝町防災会議条例の一部改正
- 紀宝町災害対策本部条例の一部改正
- 工事請負契約の変更（林道北松杖浅里線災害復旧工事）
- 平成24年度一般会計補正予算（第3号）
- 平成24年度診療所事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成24年度井内地域開発事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成24年度水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成23年度決算の認定
- 一般会計歳入歳出決算
- 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 診療所事業特別会計歳入歳出決算
- 井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算
- 町営浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
- 水道事業特別会計決算

意見書（9月）

- 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書
- 「『教職員定数改善計画』の着実な実施と教育予算拡充」を求める意見書
- 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書
- 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める意見書

編集後記

今年の夏は、毎日雨の降らない日がないくらい雨がが多く、農家の方は米の収穫が大変だったようです。

9月の定例会を開会したが、町に午前10時18分に大雨警報が発令されたため、午前11時過ぎで延会となりました。

東北の震災から1年半経過、昨年の12号台風から1年経過の中、住民の方々の防災意識は高く、本会議においても災害関係のことが多く審議されました。

3・11大津波の教訓、12号台風の教訓が活きる文化の醸成が必要です。

石川県中能登町と災害リスクを低減するための災害時相互応援協定を11月に締結され、提携交流が末永くおこなわれることを折念いたします。

（文責 市川）

「議会だより」（第24号）

編集委員

大前 森重

市川 潔

大石 洋